

くまさん先生で登降園を管理

～時短・生産性を向上させる工夫～

保育士が作成しなければならないものが昔と比べて増えたなあ。職員の書類作成業務をなんとか削減できないものか。

保育士の方はそれほど大変なのですね。

① 削減した分、保育に専念してほしい

そうなんだよ。最近、園児が何時に来て、何時に帰ったかなども細かく記録に残す必要があったりするんだ。それに指導計画や保育日誌などの作成もあってね。

② 行政に提出する書類もあるし...

それでは、情報通信技術を活用した保育士の負担軽減策を考えてみてはどうでしょうか。最新の技術では登降園の記録にセンサー内蔵のぬいぐるみも活用されているんですよ。

③ ぬいぐるみ!? それはすごいね

園児の登降園の記録や各種書類作成業務にITを活用したところ、業務が非常に効率化され、保育士の書類作成業務負担を削減することに成功しました。

④ 保育に専念する時間も増えました

園児と触れ合う時間が増え、保育の質が向上した。

取組事例紹介

業種：保育園 従業員数：20名

園児の指導計画や保育日誌、登降園時間の記録、行政へ提出する様々な書類の作成など、保育士が実際に子どもと接する以外に行わなければならない周辺業務が多く、その結果として労働者の長時間労働が発生していた。

<情報通信技術を活用した業務効率化の促進>

- 顔認証カメラとサーモセンサーを内蔵したぬいぐるみを導入し、園児の登降園の管理や体調チェック等の記録を自動化した。
- 指導計画、保育日誌、引継書を作成、管理できるシステムを導入した。

顔認証カメラとサーモセンサーを内蔵したくまさん先生が、登降園の管理や園児の体調チェック！



- 【くまさん先生導入費用を助成！】
【働き方改革推進支援助成金】
 ○労働時間短縮・年休促進支援コース
- 助成率 75%
 (一定要件の場合、80%)
 かつ
 上限額 最大200万円
 (一定要件の場合、最大440万円)
 ◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。
 ◆申請締切令和3年11月30日(国の予算の制約のため、これ以前に受付を締め切る場合があります)

- 保育士の書類作成業務が短縮され、労働時間が削減されたことから、36協定の上限を引き下げた。
- 浮いた時間で園児と触れ合う時間が増えたことにより、保育の質が向上し、保護者からの評判も上々であった。
- 園児の日々の健康状態を蓄積することで、流行病等に対応できるようになった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階(タスクール内)

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日(祝日等を除く) 午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com